



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

# 今成小だより



令和7年1月8日発行

## 本年もよろしくお願いたします

令和7年、新しい年を迎えました。

旧年中は、今成小学校の教育活動に対し、地域、保護者の皆様からあたたかいご協力を賜り、誠にありがとうございました。皆様方にとりまして本年がよりよい年でありますように心よりお祈り申し上げます。

さて、年の初めには誰もがよい年の訪れを願うものですが、人の満足感や幸福感は、現実を受け入れることから…とも言われます。過去の出来事や他人との比較で後ろ向きになるのではなく、「今できること」に力を注ぎ、身近なところにある楽しさを見いだしていく。過去を生き抜いた先人の言葉に学び一層精進してまいりたいと思います。

今成小学校は、今年も「一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校」を目指します。教職員一同思いを新たに努めてまいりますので、地域、保護者の皆様には、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



今成小の教室から仰ぐ富士山  
「よい1年になりますように」

## 「大谷せんしゅのグローブでキャッチボール!!」

右は、昨年12月のキャッチボール教室の様子です。大谷翔平選手から全国の小学校に贈られたグローブを有効に活用するため、運動委員会の子どもたちが企画立案し、3週間に渡って実施されました。

参加した子どもたちからは、「キャッチがむずかかった。でも、楽しかった。」「大谷グローブをつかえてうれしかった。」「前よりも野球に興味をもてた。」などの感想が聞かれました。

実は、この計画自体は1年前から検討されていました。しかし、様々な事情で中断し、今年度になり実現の運びとなりました。子どもたちが大谷選手からの贈り物（グローブ）をつけてキャッチボールをすることで、未来に向かって明るいイメージを抱けたならば、運動委員会の取組は大きなお手柄です。

また、この出来事から子どもたちの自主性が育つ要素として、時間や手間、時には寛容さも必要なことがわかります。周囲の大人がそのことを理解し、丁寧に関わっていけば、それは子どもたちの将来への贈り物になると考えています。



ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす